

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳少年自然の家	所管課	社会教育課
所在地	北杜市高根町清里3545	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年8月
管理方式	指定管理者((財)青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例		
設置目的	①自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 ②主催事業の実施を通じて、豊かな自然の中で情操を養い心身共にたくましい少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊室 26(8人用20室、10人用4室、5人用2室) 食堂(204人)、乾燥室1、講堂(200人)、プラネタリウム(50人)、体育館1 研修室3(30人用1室、40人用1室、50人用1室)、クラフト室2(40人用2室) キャンプ場(180人)		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用の承認に関する業務 ○ 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○ 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 ○ 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 ○ 体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務 ○ その他教育委員会が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 山梨県立愛宕山少年自然の家:利用人数22,667人
-------------------	-------------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	宿泊棟利用	32,278	31,719	28,094	
	キャンプ場宿泊利用	4,465	5,438	4,196	
	日帰り利用	1,998	1,605	2,664	
	利用者数合計	38,741	38,762	34,954	
	目標値	37,600	38,400	38,600	38,800
	目標値設定の考え方	平成18年度目標 値の2.2%増	平成19年度目標 値の2.2%増	平成20年度目標 値の0.5%増	平成21年度目標 値の0.5%増
	対19年度比	100.0%	100.1%	90.2%	100.2%
	稼働率	44.6%	44.1%	40.1%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	3,821,775	3,883,000	3,283,000	3,902,000
	指定管理者委託料	95,406,000	97,870,000	97,870,000	97,440,000
	その他	3,006,084	2,880,000	1,384,000	2,285,000
	収入合計(A)	102,233,859	104,633,000	102,537,000	103,627,000
支出	人件費	58,003,000	62,364,000	60,027,000	62,449,000
	県への納付金	0	0	0	
	管理運営費	44,031,000	42,269,000	40,623,000	41,178,000
	(うち外部委託費)(B)	11,248,000	12,875,000	13,289,000	13,022,000
	支出合計(C)	102,034,000	104,633,000	100,650,000	103,627,000
収支差額(A-C)		199,859	0	1,887,000	0
外部委託比率(B÷C)		11.0%	12.3%	13.2%	12.6%
利用者一人当りの経費		2,485	2,535	2,535	2,511

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月、実施方法:宿泊利用団体へのアンケート、回答数:195人
-------	--

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間				
②利用料金				
③申し込み方法	97.4%	—	2.6%	0.0%
④設備・備品の状況				
⑤催物・事業内容				
⑥職員の接客態度	88.7%	—	1.0%	10.3%
各項目の平均	93.1%	—	1.8%	5.2%

利用者の意見	・利用を予定していた団体が施設を利用しない場合は、他の団体が希望した場合、臨機応変に対応してほしい。 ・プログラム相談が指定された日に調整が困難な場合があり、下見と併せてしてもらいたい。
利用者の意見への対応	・各施設の利用調整をプログラム相談時に行っているが、予定していても利用しない団体がまれにあるので、そうした場合は臨機応変に対応する。 ・プログラム相談は利用日1ヶ月前に行っている。日を追って前後の利用団体の予定等を綿密に計画しているため、下見当日の相談は不可。遠方の団体は電話打合せで対応している。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	本館、キャンプ場、敷地内設備等の状況を把握し、確実に点検整備を実施した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	利用における快適性や、効果などを十分に考慮して執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。 利用者の利便性、快適性を常に念頭に置き、サービスの向上に努めている。
自主事業	青少年育成団体等に職員を講師として派遣し、参加者に対し楽しく仲間作りができるノウハウの提供を行った。職員の資質向上と自己研鑽にもなった。	青少年育成講師派遣事業のほか、飲料水、クラフト材料等の販売を行い、利用者の利便性向上に努めた。
利用状況	H21年度は、新型インフルエンザの流行等で宿泊利用者のキャンセルが多く、それが減数の一因となった。一方、日帰り利用者数は伸びているので、これらの利用者を宿泊利用へと結びつけた。	社会的な要因で利用者数が減じた。今後も積極的なPR活動等により、施設の認知度を高め、利用者増加に向けて努力されたい。
収支状況	項目により対計画比に差があるが、全体的にはほぼ計画通り執行できた。	施設の老朽化もあり修繕に要する経費が増加するなかで経費節減に努めていることは評価できる。
利用者満足度	アンケートの結果、各項目とも80%以上の満足度を得られていた。対応可能な意見については、すぐに改善策を打ち出し、対応した。	利用者アンケートの結果は四半期毎に報告された。利用者ニーズの把握に努め、管理運営に反映させるよう指導した。運営上の工夫で解決可能な意見については速やかな対応がなされた。
運営目標の達成状況		<ul style="list-style-type: none"> ○H21 利用者数目標値 38,600 実績 34,954 ○H21 主催事業参加者数目標値 2,050 実績 2,459 ○新型インフルエンザの流行による影響でキャンセルが多発し、利用者数は目標値に達しなかった。 ○主催事業参加者数については、予定定員数を大幅に上回る事業があった。
施設所管課による総合的な評価及び指導事項		<p>現地確認をしたところ、施設内外とも管理がよく行き届いていた。</p> <p>維持管理業務・運営業務については、適正に実施されており、利用者満足度調査における評価も良好であった。</p> <p>今後も、経費節減、費用対効果に留意しながら、継続して積極的なPR活動を行うなど、利用者数の増加に向け努力すること。</p>
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況		<p>各種、広報媒体の活用やHPの定期的な更新により、主催事業や利用案内の情報発信を行っている。</p> <p>今年度の利用者数は、4～6月の実績で前年度比8%増となっている。</p>

7. 管理体制(組織図)

